

特集展示

戦争と 福祉・ボランティア

— 田中半治郎の遺品から —

2022 6.29 水 — 9.5 月 [火曜休館]

人が福祉やボランティアに関わるきっかけとは何か。戦争体験がそうしたきっかけの一つとなることを示します。

(念 紀 旋 凱 役 罷 露 日)

隊 中 二 十 第 隊 聯 八 第 兵 歩

日露戦役凱旋記念写真 明治38年(1905)
本館蔵(池田啓子氏寄贈)



会場:8階 特集展示室

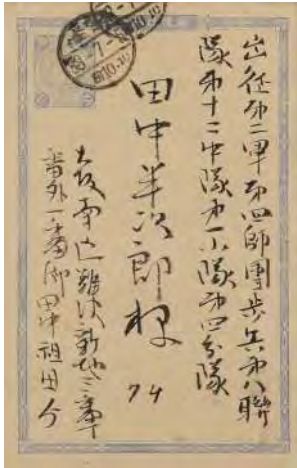
常設展示観覧券で
ご覧いただけます



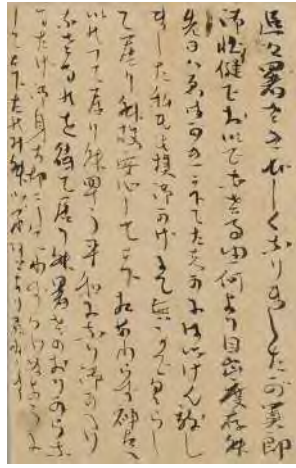
大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

はじめに

大阪歴史博物館は、陸軍歩兵第八聯隊入営中に日露戦争に従軍し、大正期には現在の民生委員に相当する方面委員をつとめた田中半治郎（1882～1930）という人物の遺品を所蔵している。方面委員は、無給で生活困窮者の救済活動に従事するボランティアであった。本展示では、田中の人生にとって軍隊内で積み上げた経歴（軍歴）が大きな意味を持っていたことを確認する。さらに、方面委員としての田中の活動を理解する上で、日露戦争中の戦争体験が重要であることを明らかにする。

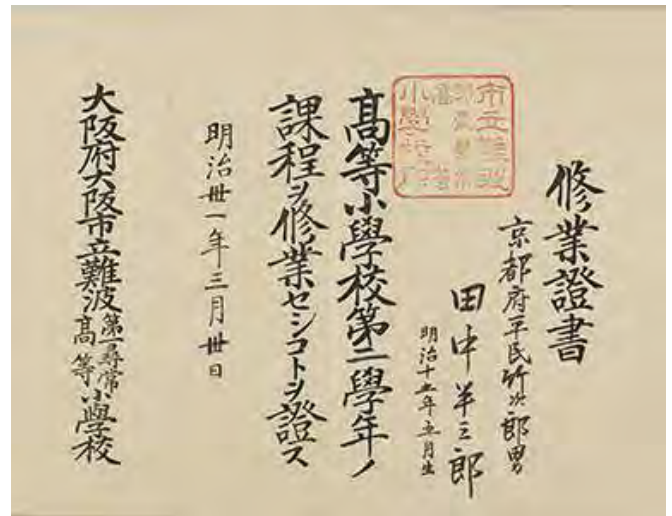


田中祖母軍事郵便 明治38年(1905)



1. 学歴

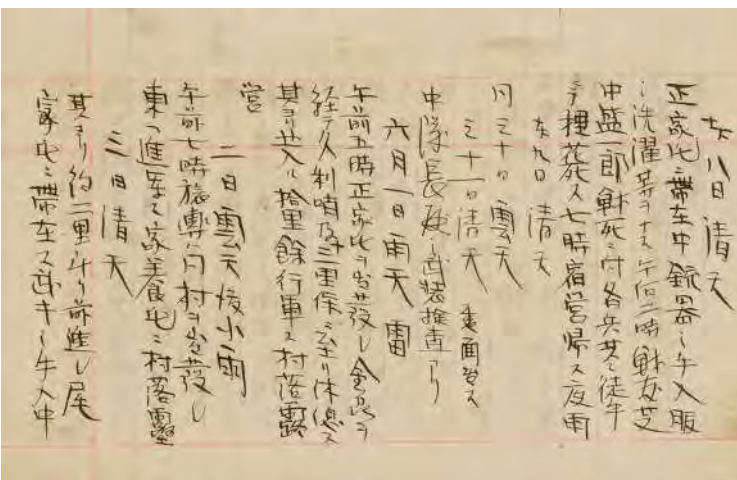
田中半治郎は、学歴に恵まれなかった人である。田中は、11歳になる明治26年（1893）になってようやく尋常小学校二年に編入学した。在学中は、毎年賞状を授与されるなど、成績は優秀であった。卒業後は4年で卒業できる高等小学校に進学し、ここでも成績は優秀であったが、卒業せずに2年で学業を断念した。田中は、「学歴」という社会で生きていく上での有効な手段を手に入れることができなかったのである。



尋常高等小学校修業証書 明治31年(1898)

2. 日露戦争従軍

田中半治郎は、陸軍歩兵上等兵として日露戦争に従軍した。凱旋した田中たちの部隊は、各地で大歓迎を受ける。田中は、多くの国民が勝利に熱狂していることを知り、心を痛めた。田中の戦友が、田中も参加した南山（なんざん）の会戦で亡くなっていた。田中の家では、父が寝る間も惜しんで働き続けた。祖母も田中の無事を祈るため、何度も神社に参拝した。そうした事情を知っていた田中は、勝利を素直に喜べなかったのである。



日露戦闘日誌 明治37～38年(1904～1905)

3. 軍歴

田中半治郎は、日露戦争に従軍したことで軍歴を高めることができた。従軍前に早くも上等兵に昇進していた田中は、戦後除隊と同時に善行証書と下士適任証書を授与された。これらは、社会復帰後の就職に有利に働くものであった。しかし田中は、日露戦後に実施された軍事演習に参加すると、さらに軍歴を高めるために参加期間を延長し、伍長に昇進した。学歴に恵まれなかった田中が頼ったのは、軍歴だったのである。



陸軍歩兵伍長田中半治郎
明治40年(1907)頃

4. 方面委員就任

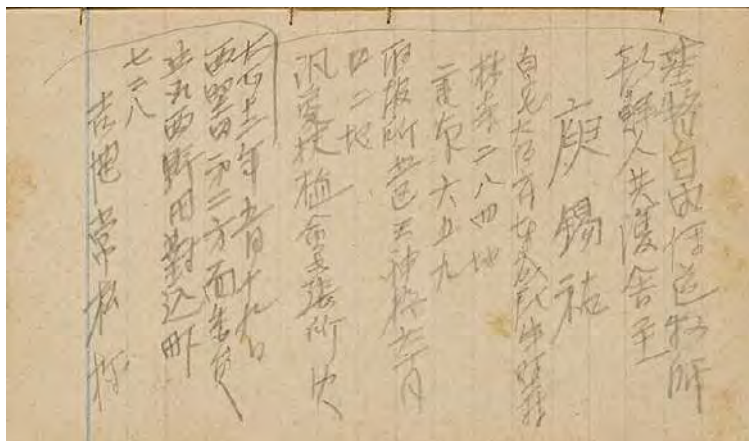
田中半治郎は大正8年（1919）に方面委員に任命された。方面委員は、大阪府が前年の米騒動を受けて創設したもので、生活困窮者の救済のために無給で活動するボランティアであった（現在の民生委員に相当）。田中は、特に働き手が軍隊に入隊したことが原因で貧困に陥った世帯の救済に尽力した。日露戦争中の家族の苦勞を知る田中には、他人事と思えなかったのだろう。田中の活動の背景には、戦争体験があったのである。



大阪府方面委員手帳 大正8～12年(1919～1923)

6. 方面委員手帳を読む

田中半治郎が残した大阪府方面委員手帳は大変貴重な資料である。田中の手帳には、田中自身が行った救済活動だけでなく、田中が参加した会合の議事録なども記録されていた。ここでは、あらためて田中が、軍隊に働き手が入隊したことによって貧困に陥った家族の救済に取り組んでいたことを確認するとともに、会合の議事録から判明する朝鮮人救済活動の実態や方面委員を兼務していた警察官の活動の実態についても紹介する。



大阪府方面委員手帳 大正8～12年(1919～1923)

5. 地域有力者に

田中半治郎は、方面委員就任以降、地域社会で様々な公的役割を果たすようになっていく。方面委員としての活動が認められた結果であろう。戦前的大阪では、小学校の学区単位に様々な団体が組織され、地域の有力者がそうした団体の役員に就任していた。田中も、そうした団体の役員や方面委員のような名誉職に就任し、地域社会に貢献した。田中は学歴に恵まれなかったが、地域有力者へののぼりつめたのである。



大阪城天守閣竣工記念末広 昭和6年(1931)

7. 田中半治郎の人生を振り返る

本展の展示品のうち、田中半治郎の人生を振り返る上で、重要と思われる資料を拡大パネルにして紹介し、田中が人生のさまざまな局面で、何を思い、考え、行動したのか、についてあらためて考えたい。



田中竹次郎軍事郵便
明治38年(1905)2月2日

*本リーフレット掲載資料は全て本館蔵（池田啓子氏寄贈）

田中半治郎の経歴

明治 15 年 (1882) 5 月 15 日	京都府に生まれる
明治 26 年 (1893) 4 月 1 日	難波村立難波第三尋常小学校二年に編入学
明治 29 年 (1896) 3 月 31 日	難波村立難波第三尋常小学校卒業
明治 31 年 (1898) 3 月 30 日	大阪市立難波第一尋常高等小学校二年修了
明治 35 年 (1902) 12 月 15 日	陸軍第四師団第八聯隊第十二中隊に入隊
明治 36 年 (1903) 12 月 1 日	上等兵に進級する
明治 37 年 (1904) 3 月 4 日	日露戦争従軍のための動員下令を受ける
明治 37 年 (1904) 5 月 28 日	南山会戦で戦死した戦友芝中盛一郎を埋葬する
明治 38 年 (1905) 12 月 20 日	陸軍第四師団第八聯隊第十二中隊を満期退営し、善行証書と下士適任証書を授与される
明治 39 年 (1906) 4 月 1 日	金鷄勲章を授与される
明治 40 年 (1907) 7 月 8 日	陸軍伍長となる
明治 42 年 (1909) 10 月 2 日	上田ミキと結婚する
大正 4 年 (1915) 4 月 15 日	帝国在郷軍人会難波分会評議員となる
大正 8 年 (1919) 1 月 10 日	難波第一方面の方面委員となる
大正 9 年 (1920) 7 月 20 日	国勢調査員に任命される
大正 12 年 (1923) 1 月 15 日	帝国在郷軍人会河原分会監事となる
大正 12 年 (1923) 5 月 3 日	難波河原尋常小学校幹事に選定される
大正 12 年 (1923) 12 月 24 日	方面委員を解嘱される
昭和 5 年 (1930) 7 月 13 日	死去



征露出征記念写真
明治 37 年 (1904)



明治三十七八年役記念賞状函
明治 40 年 (1907) 頃

参考文献

『館蔵資料集 18 田中半治郎関係資料』(大阪歴史博物館、2022 年)

『100 周年記念 大阪の米騒動と方面委員の誕生』(大阪歴史博物館、2018 年)

飯田直樹『近代大阪の福祉構造と展開—方面委員制度と警察社会事業—』(部落問題研究所、2021 年)

第 138 回特集展示

「戦争と福祉・ボランティア—田中半治郎の遺品から—」

会 期 令和 4 年 (2022)6 月 29 日 (水)～9 月 5 日 (月) 火曜日休館

展示担当 飯田直樹

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 ※入館は閉館の 30 分前まで

会 場 大阪歴史博物館 8 階 特集展示室

観 覧 料 常設展示観覧料で観覧いただけます。

大人 600 円 (540 円)、高校生・大学生 400 円 (360 円)

※()内は 20 名以上の団体割引料金

※中学生以下・大阪市内在住の 65 歳以上 (要証明証提示) の方、
障がい者手帳等をお持ちの方 (介護者 1 名を含む) は無料



大阪歴史博物館

Osaka Museum of History

ホームページ

<http://www.mus-his.city.osaka.jp/>